

## ■中国：政府、2030年までの温室効果ガス排出削減目標の引き上げを示唆

環境情報サイトは2019年7月2日、中国政府は、フランス政府、グテーレス国連事務総長との共同声明で、気候変動目標について現状目標を越える「更新」を行う意向を明らかにした。パリ協定に基づき各国はそれぞれが設定する温室効果ガスの排出削減目標を提出しているが、2020年までに、これらの目標を「更新」することになっている。これまで提出された目標ではパリ協定の温度抑制目標が達成できないと分析されているため、国連ではこれまでの目標を上回る目標を再設定することが必要と訴えており、今回の声明は中国政府として目標引き上げを示唆したものである。EUでも2050年の目標を引き上げ、カーボンニュートラルとすることを議論しているが、EUとして意思決定は先送りになっており、中国が目標を引き上げれば主要国では初めての動きになる。